

安倍政権は事実と言葉を歪曲してきた。法の支配や立憲主義の観点から見ると「まともでない」「ことが常態化している。戦争法を平和安全法制といい、南スーダンでの戦闘を武力衝突、武器輸出は防衛装備の移転と言ひ換えた。

さらに現実を歪曲したのが今国会。森友・加計学園問題では「記憶にない、資料が見当たらない」とまともに質問にも答えない。事実認定できない政権が共謀罪を運用するのだから、ないものがあったことにしてしまふ恐ろしさがある。

実は追い込まれている安倍政治

共謀罪法が通ってしまった。特定秘密保護法、盗聴法の強化、安保関連法制、そしてこの共謀罪で安倍政権の「戦争のできる国」作りは着々と進む。最後の砦、平和憲法が狙われている。この状況をどう捉え、どのような運動をしていけばよいのか。市民連合等で野党共闘の推進役を果たしてきた中野晃一さん(上智大学教授)にお話を伺った。



個々の尊厳あるくらしのために政治はある

立憲野党は、レフリーのいないリングでボクシングをしていたようなもの。何度倒してもKOにならないから大変だったと思う。安倍政治の闇が深まった国会だったが、一方で「あつたことをなかつたことにはできない」と、文科省の前川喜平前事務次官が口火を切った。文科省の一部現役職員、メディアなどから、リスクを負っても筋を通そうとする人が出てきている。

「安倍一強」で思い通りに行っているように見えるが、中間報告だけで共謀罪法案を通すなど、乱暴な国会運営をせざるを得ないほど、実は追い込まれているのだ。安倍総理の「2020年新憲法施行」発言も、憲法審査会の論議がうまくいかない焦りからきたものだろう。今解散したら議席を減らしてしまうので、もはや解散総選挙を「脅し」に使うこともできない。

「自民党、感じ悪いよね」の共有

森友・加計学園問題は何も終わっていない。国会閉会後の記者会見で、安倍総理は口先だけでも「丁寧に説明する」と言わざるを得ないほど「何か隠している」「安倍さんクロじゃないか?」という印象を残したままだ。

立憲野党と市民は、閉会中審査や臨時国会の開催、証人喚問、集中審議など追及を緩めず、与党が応じざるを得なくすることだ。応じなければ「自民党、感じ悪いよね」という印象がもつと広がるだろう。メディアと国会、市民社会の連動した動きが大切だ。

「安倍改憲を許さない」のつながる

私は護憲派だが、一部改憲や加憲などいろいろな人がいる。分断されないために、まず「安倍改憲を許さない」の一点でつながれば、闘いようがある。

「憲法改正」は、国柄や構造を変える外科手術のようなもの。どこも悪くないのに手術しようという人はいない。そもそも、憲法改正論議より優先事項がある。第1次安倍内閣は、消えた年金問題(グッドガバナンスへの信頼が失墜)、格差と貧困が命取りになった。安倍政権が安保や共謀罪、改憲に固執する中で、国民の生活や労働に直結することがいかに疎かにされてきたか、明らかにしていることだ。

「安倍改憲を許さない」のつながる

国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「政治とカネ」には関心が強い。国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「安倍改憲を許さない」のつながる

自由や規範を重視する人が多い。グッドガバナンスも社会的平等も、民主主義の「結果」として生まれるものだが、自由や権利より日本人は重要だと思っている。安倍政権の支持率低下につながったと思われる森友・加計学園問題は、このグッドガバナンスの問題。公私混同、国有財産の不当な払下げに国民は相当な違和感を持っている。「政治とカネ」には関心が強い。

アジアン・パロメーター(アジア最大の比較世論調査)に、民主主義の意義とは何かを聞いた調査がある。①自由、②規範・手続き、③グッドガバナンス(まっとうな統治)、④社会的平等の4つから選ばせるのだが、アジアでは③④が多く、日本では40%以上の人が、グッドガバナンスを重要視しているという結果が出た。

ヨーロッパでは、自由や規範を重視する人が多い。グッドガバナンスも社会的平等も、民主主義の「結果」として生まれるものだが、自由や権利より日本人は重要だと思っている。安倍政権の支持率低下につながったと思われる森友・加計学園問題は、このグッドガバナンスの問題。公私混同、国有財産の不当な払下げに国民は相当な違和感を持っている。「政治とカネ」には関心が強い。

「安倍改憲を許さない」のつながる

私は護憲派だが、一部改憲や加憲などいろいろな人がいる。分断されないために、まず「安倍改憲を許さない」の一点でつながれば、闘いようがある。

「憲法改正」は、国柄や構造を変える外科手術のようなもの。どこも悪くないのに手術しようという人はいない。そもそも、憲法改正論議より優先事項がある。第1次安倍内閣は、消えた年金問題(グッドガバナンスへの信頼が失墜)、格差と貧困が命取りになった。安倍政権が安保や共謀罪、改憲に固執する中で、国民の生活や労働に直結することがいかに疎かにされてきたか、明らかにしていることだ。

「安倍改憲を許さない」のつながる

国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「政治とカネ」には関心が強い。国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「安倍改憲を許さない」のつながる

自由や規範を重視する人が多い。グッドガバナンスも社会的平等も、民主主義の「結果」として生まれるものだが、自由や権利より日本人は重要だと思っている。安倍政権の支持率低下につながったと思われる森友・加計学園問題は、このグッドガバナンスの問題。公私混同、国有財産の不当な払下げに国民は相当な違和感を持っている。「政治とカネ」には関心が強い。

「安倍改憲を許さない」のつながる

自由や規範を重視する人が多い。グッドガバナンスも社会的平等も、民主主義の「結果」として生まれるものだが、自由や権利より日本人は重要だと思っている。安倍政権の支持率低下につながったと思われる森友・加計学園問題は、このグッドガバナンスの問題。公私混同、国有財産の不当な払下げに国民は相当な違和感を持っている。「政治とカネ」には関心が強い。

来る衆院選では、第一段階では上から目線の強権政治か、多様性の中で個人を尊重する政治か、対米従属外交か全方位外交か、二者択一を迫る。昨夏の参院選では、与党と立憲野党の対立軸を一定程度明らかにする事ができたが、政策の違いを争点にするには至らなかった。

だから第一段階は同じように見える福祉や教育政策の与党との違いを予算額や本気度で、有権者に示すことが重要だ。メディアを握っている与党が有利に思えるが、ここまで嘘とごまかしでやってきた安倍政治に対して、国民はかなり不信

「安倍改憲を許さない」のつながる

国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「政治とカネ」には関心が強い。国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「安倍改憲を許さない」のつながる

国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「政治とカネ」には関心が強い。国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「安倍改憲を許さない」のつながる

国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「政治とカネ」には関心が強い。国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「安倍改憲を許さない」のつながる

国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「政治とカネ」には関心が強い。国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

度明らかになる事ができたが、政策の違いを争点にするには至らなかった。だから第一段階は同じように見える福祉や教育政策の与党との違いを予算額や本気度で、有権者に示すことが重要だ。メディアを握っている与党が有利に思えるが、ここまで嘘とごまかしでやってきた安倍政治に対して、国民はかなり不信

感を持つている。権力の私物化と頭ごなしの強権政治をこれ以上野放しにして国民生活を疎かにしているのかと有権者に伝え、わかっただけでいいことが大切だ。安倍さんは「この道しかない」というが、こんな道しかないわけじゃないでしょ? (聞き手・池田万佐代)

「安倍改憲を許さない」のつながる

国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「政治とカネ」には関心が強い。国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「安倍改憲を許さない」のつながる

国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「政治とカネ」には関心が強い。国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「安倍改憲を許さない」のつながる

国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「政治とカネ」には関心が強い。国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「安倍改憲を許さない」のつながる

国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

「政治とカネ」には関心が強い。国会前デモに行かなくても、テレビに安倍さんが映るとチャンネルを変える程度の「感じ悪い」感覚は広がっている。お友だちに税金や許認可の便宜を図る安倍政治にいやな感じを持っている人々を巻き込み、力にしていこう。

東京地裁、TPPの違憲審査せず`門前払い、

TPP交渉差止・違憲訴訟の会

TPPは米国の不参加で破算になったと思っている国民が多い。しかし、今国会でも「水道法改正」「種子法の廃止」といったTPP基準の国内法整備は着々と進められている。「岩盤規制に穴を空ける」という安倍総理は今もTPP基準に前のめりなのだ。しかし、法規制は国民のいのちや豊かな自然を守るために必要なものもたくさんある。いのちの水や食料(種子)、医療を守るための規制をグローバル企業のために解放していいはずがない。今後の動きにも注意していきたい。(夏目みゆき)

